



金子中だより

令和4年6月28日 第5号
入間市立金子中学校 校長 今泉大二郎



久しぶりの観客を前に

6/22(水)、狭山市民会館において第57回西部支部吹奏楽研究発表会が開催され、本校からも吹奏楽部が参加しました。

この2年間、吹奏楽部もコロナの影響で活動を大きく制限されました。吹奏楽は室内での活動であり、楽器を吹くということは呼気が増えるということでもあるので練習の場所や場面等が強く制限され、大会や発表会等もことごとく中止となってしまいました。そのような中でも生徒たちは、発表の舞台に立てることを信じ、一生懸命に練習に取り組んできました。

当日は、「『観光列車』ポルカ」(J.シュトラウス2世)、「A列車で行こう」(B.ストレイホーン)の2曲を堂々と演奏しました。久しぶりの観客を前にしての演奏ということもあって、少々緊張気味のところもありましたが、演奏が始まると会場全体が明らかにそれまでの雰囲気とは変わり、迫力のある豊かな音色が会場にいる観客全体を包み込んでしまったかのようなのでした。演奏後の生徒たちにもやり切った感が満ち溢れ、とてもいい表情でした。まさに人の心を動かす素晴らしい演奏でした。これから発表の機会も少しずつ増え、保護者や地域の皆様の前で演奏する機会もあるかと思えます。今後も努力を続け、一人一人の技量を磨くとともに、全体の美しい響きをさらにレベルアップしてほしいと思います。

大変お忙しい中、会場に足を運んでいただいた保護者の皆様、生徒を応援していただいております。ありがとうございました。

大変お忙しい中、会場に足を運んでいただいた保護者の皆様、生徒を応援していただいております。ありがとうございました。



美術部作品展開催中

6/20(月)~7/9(土)まで、北校舎1階の多目的室(茶室の隣)で美術部の校内作品展を実施しています。発表の機会を失ってしまったという点では美術部も同様で、この2年間、多くの展示会等が中止となってしまいました。吹奏楽部が多くの人前で演奏することに達成感を感じるように、美術部の生徒も、心を込めて真剣に取り組んだ自分たちの作品を鑑賞してもらうことで、次の作品への作製意欲がわいてくるものです。そんな顧問の粋な計らいから実現したものです。

作品をじっくり見てみますと、実に個性豊かで、訴えかけてくる力を感じたりもします。1つ1つの作品に作者の努力の跡が見え隠れしています。

学校公開日まで開催しておりますので、学校へお越しの際は、ぜひ生徒の作品をご覧になっていただければと思います。



2年生 まごころ交流会

6/24(金)、2年生の総合的な学習の時間に、恒例のまごころ交流会を実施しました。当日は、金子地区長寿会の約30名ほどの皆様にお越しいただきました。ゲートボール、将棋、着付け、おかし玩具、うどん作りの5つの講座に分かれ、人生の大先輩方から昔ながらの知恵や技、日常生活における何気ない工夫等、知っているとは何かと役立つ技術や心掛け等を楽しく触れ合う中で学びました。

核家族化や共働き世帯の増加、少子高齢化、人口減少、日常生活のデジタル化等が急速に進む中で、家族の形態やあり方、生活スタイルは大きく変わりました。それと同時に人と人との触れ合い方も大きく変わりました。今や生活の様々な部分がデジタル化（ICT化）され、便利で快適な生活を送ることができ、人間はデジタル端末を操作することで効率的に物事を進め、デジタル化が進むことで人と人との間に生まれる煩わしさも、ある程度排除することができるようになりました。

一方で、かつては家族の触れ合いの中できちんと継承されていた生活の知恵や技、人と人との触れ合いから生まれる温かいコミュニケーション等が失われています。

まごころ交流会を通して、現代の生活の中で失われつつあるものの大切さに気づき、それを少しでも継承することができればと思います。祖父母と孫ほどの歳の離れた長寿会の方々と生徒との心のこもった触れ合い（まごころ交流会）を通して、学校と地域の絆がさらに深まり、温かい金子地区の発展に寄与することを願います。

ご協力いただきました金子地区長寿会の多くの皆様、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。まごころ交流会は7/9(土)の学校公開日にも実施いたしますので、次回もよろしくお願いいたします。

